

医師主導による医療機器開発のためのニーズ創出・事業化支援セミナー

2019年度バイオデザインワークショップ

～医師の方：医療機器開発ニーズをお持ちの方を募集します～

日本医師会及び関東経済産業局は、医師ニーズを出発点とした市場性のある医療機器開発の実現と、「産・官・学・医」の効果的なネットワーク形成を促進するため、ジャパンバイオデザイン協会と連携し、以下のワークショップを開催します。バイオデザインワークショップの開催にあたり、医師から医療機器開発に係るニーズを募集します。

開催プログラム

日時	第1回	2019年	10月19日(土)	場所	日本医師会館 3階 小講堂 (〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16)
13:00-13:05	開会挨拶	日本医師会常任理事	羽鳥 裕		
13:05-16:50	グループワーク形式で、バイオデザインプロセスに基づき、課題から臨床ニーズを探索・決定します。 【講師】八木 雅和 先生	ジャパンバイオデザイン プログラムダイレクター 大阪大学大学院医学系研究科 特任准教授 他			
16:50-17:00	全体統括・閉会				
17:10-18:40	情報交換会	日医会館となり	イタリアンレストラン「トラットリア」		

【募集】医師で医療現場のニーズをお持ちの方

【開催日（全4回）】

ニーズ提案者は、**原則、第1回～第4回への参加を前提**とさせていただきます。

- 第1回 2019年10月19日(土) 13:00～17:00 @日本医師会館
- 第2回 2019年11月 2日(土) 13:00～17:00 @日本橋ライフサイエンスビル
- 第3回 2019年12月 1日(日) 13:00～17:00 @日本橋ライフサイエンスビル
- 第4回 2020年 1月26日(日) 13:00～17:00 @日本橋ライフサイエンスビル

➤ 参加にあたっての留意事項

- ◆当日は、医師、臨床工学技士等の医療関係職種、医療機器製造販売企業、ものづくり企業、地域の医工連携コーディネータの混成チームを5組程度組成し、グループワークを実施する予定です。



2018年度第4回セミナー(ワークショップ)の様子

主催

公益社団法人日本医師会
経済産業省関東経済産業局

事務局

日本医師会総合政策研究機構(日医総研)
日本医療機器開発機構
新社会システム総合研究所

協力

一般社団法人ジャパンバイオデザイン協会
日本臨床工学技士会

後援

(予定含む) 厚生労働省、特許庁、日本弁理士会、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)、一般社団法人日本医療機器産業連合会(医機連)

第1回ワークショップの内容

- ◆第1回WSでは、医療機器開発の芽となる医療現場の課題を起点としたプロジェクト創出に先立ち、バイオデザインプロセスに基づきニーズを表現するフレームワークについて学ぶグループワークを実施します。
- ◆医師から提示される5つの医療現場の課題に関して本質的な問題は何かを議論し、プロジェクト創出のためのニーズを探索・決定する予定です。



医療現場の本質的なニーズを踏まえた市場性のある機器開発の実現

2019年度ワークショップの開催内容（全4回）

第1回

• ニーズの探索・決定

医療現場の課題に対して、臨床・ビジネスの実現可能性の観点から深堀をして、臨床ニーズを正確に定義する方法を学びます。

第2回

• コンセプト創造

臨床ニーズを起点に、ブレインストーミングや試作などを通じて、解決策のコンセプトを創造するための方法を学びます。

第3回

• ビジネスプランニング

創造したコンセプトを医療機器として上市するために必要な基礎的な調査、ビジネスプラン作成方法について学びます。

第4回

• ピッチ作成・評価

ビジネスプランを実現するためにピッチを作成する方法を学び、投資家や支援者・顧客等に向けて非公開の場で発表します。

【ご注意】 各回の実施内容はそれ以前の回の進捗に応じて変更することがあります。

ニーズ申込方法

10/4
締切

【医師の方】

ホームページ (<http://jmamdc.med.or.jp/>) に掲載している申込用紙 (②【医師の方】ニーズ登録フォーム：Word版) にてニーズの内容を含む必要事項をご記入の上、以下のメールアドレスに添付してお申し込み下さい。

【メール送信先】

日医総研 吉田・田岡 supportdesk@jmamdc.med.or.jp

※ 選定されたニーズについて、別途ご連絡いたします。

本WSに 関する窓口

日医総研 医療機器開発支援窓口 (Webサイト) : <http://www.jmamdc.med.or.jp>
お問い合わせメールアドレス : supportdesk@jmamdc.med.or.jp
担当 : 日医総研 吉田・田岡